

# 関西ジュニアカップ 男女競技規則

(2022年訂正版)



制作

関西ジュニア体操クラブ協議会

# 関西ジュニアカップ男子競技規則 (2023~)

	初級	中級	上級
ゆか	12m×12m		
あん馬	円馬60~70cm	鞍馬115cm (跳びつき台の使用可)	鞍馬115cm (跳びつき台の使用可)
つり輪		265cm	265cm
跳馬	跳馬110cm	跳馬120cm	跳馬125cm
平行棒		185cm ※マット面より165cm	195cm ※マット面より175cm
鉄棒	245cm	275cm	275cm

- ◇ 競技規則については初級は関西ジュニア適用規則、2022年度版中学校男子適用規則及びジュニア規定に、中級は日本体操協会U12-2022年度版採用規則、上級は2022年度版中学校適用規則(U15)に準ずる
- ◇ 寸度については床面からの計測とするが、初級あん馬はマット面からの計測とする。
- ◇ 規定の寸度に微妙に合わない場合は近いほうに合わせる。
- ◇ 初級あん馬の採点規則及び演技内容は春の西宮大会のものを採用する。
- ◇ 各級共に禁止技については削除する。また、アップ時に選手が行う技が未習熟で危険を伴うと判断できる場合、主任審判の権限であらかじめ実施不可の警告を行います。この警告を無視して実施した場合、その種目の得点は0点とする。

## 配点

	初級	中級	上級
要素	6技		
難度	1.80 (0.30×6)		
特別要求	0.90 (0.30×3)		
加 点	0.20 (跳馬は0.30)		
実 施	7.10		
ゆか	演技時間75秒以内 ※60秒と70秒の時間経過を音による合図で知らせる	日本体操協会U12 2022年度版採用規則	日本体操協会2022年度版中学校適用規則(U15)
あん馬	円馬による旋回(10周) ※ジュニア体操西宮大会(春)の規定演技		
跳馬	2助走1試技		
吊り輪			
平行棒			

# 採点 ・ 特別要求

	初級	中級	上級
ゆか	①前方系又は後方系の跳躍技 ②片足上でのバランス静止技 または倒立静止（2秒） ③柔軟性を表現する技（2秒）	日本体操協会U12 2022年度版採用規則	日本体操協会2022年度版中学校適用規則（U15）
あん馬	規定演技 円馬による旋回（10周）		
跳馬	以下の表のようにそれぞれの跳躍技に 独自の基礎点を定める		
	a) 前転とび群 前転とび・・・・・・ 9.20 前転とびひねり・・・・ 9.30 前転とび1回ひねり・・・ 9.50 前転とび3/2ひねり・・・・ 9.70		
	b) ツカハラとび群 かかえこみツカハラとび・・ 9.50 屈身ツカハラとび・・・・ 9.70		
	c) 前転とび前方宙返り群 前転とび前方かかえこみ宙返り・9.70		
	上記にない跳躍技は2022年度版採点規則の 価値点から以下のように判定される		
	2.80～ →9.70 2.40～2.70→9.50 2.00以下→9.40		
鉄棒	①懸垂振動ひねり技 ②支持回転技 ③終末技		※跳馬は、跳馬1を採用
つり輪			
平行棒			
その他	◇ 技の繰り返しは二回まで認める。 ◇ 実施減点は、小欠点（0.10）・中欠点（0.20） ・大欠点（0.30）・落下（0.50）とする。 ◇ 9.0以上の演技に対し0.05採点を採用する。		

# 関西ジュニアカップ女子競技規則 (2023~)

	初級	中級	上級
跳馬	跳馬110cm	跳馬125cm	
段違い平行棒	上255cm 下175cm		
平均台	125cm		
ゆか	12m×12m		
課題	自由演技		
競技規則	関西ジュニア制定規則	2022年版変更規則Ⅱ ※1 (一部変更して適用)	2022年版変更規則Ⅰ

※1 跳馬…第二空中局面で一回以上のひねりを伴う前方宙返り、又は後方宙返りは無効とする

# 関西ジュニアカップ 女子規則 ◇初 級◇ (2023~)

		内容	構成要求 (CR)	加点	内訳		
跳馬		禁止の跳躍はなし  ただし、Dスコアは3.2Pが最高得点	2回の跳躍を実施し、良い方の得点が有効点	着地が止まる +0.30	(D) 3.20+ (D) 加点0.30+ (E) 10.00		
		段違い平行棒	①低棒と高棒を使った演技 ②け上がり ③閉脚振上げ倒立 (同一要素2回までOK) ④8要素以上の演技 ⑤終末技A以上 (高棒からフット下りはA難度として認める)	着地が止まる +0.30	(D)	DV	1.60
						CR	2.50
					加点	0.30	
					(E)		10.00
平均台	自由演技	※ 終末技を含む8要素以上で構成  (要素は演技順に1回のみ数える。) (演技時間は90秒まで)	①片足ふみきり前後開脚ジャンプ (大ジャンプなど) ②片足上の360度ターン ③後方のアクロバット系要素 ④前方または側方のアクロバット系要素 ⑤終末技A以上 (側方倒立回転おりOK)	180度以上の開脚 +0.30	(D)	DV	1.60
						CR	2.50
					加点	0.30	
					(E)		10.00
ゆか		※ 終末技を含む8要素以上で構成  (要素は演技順に1回のみ数える。) (演技時間は90秒まで)	①180度の前後開脚の跳躍技を一つは含む二つのリープ 又はホップの組み合わせでの移動 (同一技OK) ②片足上の360度以上のターン ③前方または側方のアクロバット系要素 ④後方のアクロバット系要素 ⑤最終のアクロバット系シリーズ (2つ以上の空中局面を伴う技からなる) は、A難度以上	180度以上の開脚 +0.30	(D)	DV	1.60
						CR	2.50
					加点	0.30	
					(E)		10.00

◇ 実施要素については日本体操協会制定の2022年版女子採点規則集記載の要素を行うこと。

(変更規則Ⅰの「Aの難度と認められる要素」を含む。また、構成要求に使用できる。)

◇ 日本体操協会制定の2022年版女子採点規則集「第8章一般欠点と減点表」および各種目の「特有な実施減点」「芸術性と構成の減点(平均台、ゆか)」を適用する。

ただし以下の減点はされない

① 段違い平行棒における要素のない棒間移動 (0.50)

② 平均台における要素のない開始技 (0.10)

◇ (D) …Dスコア、(E) …Eスコア

DV…難度点 A要素=0.10/B要素以上=0.20で算出

CR…構成要求

※ 数えられた8つの技の中には少なくとも以下を含まなければならない

- 3つのダンス系の技
- 3つのアクロバット系の技

◇ 短い演技については、2022年版女子採点規則集、変更規則Ⅰの<短い演技>を適用